

平成 28 年度事務事業評価表(一般事業・継続)

No. 471

事務事業名	議会広報事務
-------	--------

作成日	平成 28 年 10 月 28 日		
部局名	議会事務局		
課名	議会事務局		
課長名	高木 義治	内線	301
担当者名	松山 誠一	内線	303

基本目標		持続可能な行財政運営と市民協働の推進
政策	060102	効率的で開かれた行政運営の推進
施策		開かれた市政の推進と個人情報の保護
関連施策		

会計	一般	
款	1	議会費
項	1	議会費
目	1	議会費
事業コード	040000	議会広報事業

事業類型	4	ソフト事業(任意)
個別計画		
重点事業		

【PLAN(計画)】

対象(者)	市民		
意図	議会活動をより多くの市民に公開し、提供することで、市民と行政・議会が市政に関する情報や問題意識等を共有し、協働による解決を図るとともに、市民の議会への理解と関心を高め、開かれた市政の推進を図る。		
事業概要	1 「市議会だより おおむら」を年に4回作成し、主に町内会を通じて、町内会加入世帯に配布するとともに、「議会ホームページ」に掲載する。 2 本会議における市政一般質問のインターネットライブ中継及びインターネット録画配信を行う。 3 「市民と議会のつどい 語ってみゅーか」(議会報告会)を開催する。		
事業期間	年度 ~ 平成 年度	実施方法	直営
根拠法令、要綱等	大村市議会基本条例、広報委員会の運営に関する規程		
国・県補助事業に係る本市単独施策	無		

【DO(実施)】

指標名(上段:名称/下段:算定式等)		単位	25年度	26年度	27年度	28年度	備考
活動指標	① 市議会だより発行部数	計画値	124,000	124,000	124,000	124,000	
		実績値	124,000	124,000	124,000		
		達成度	100.0%	100.0%	100.0%		
活動指標	② 市議会だよりの発行回数及びホームページへの掲載	計画値	4	4	4	4	
		実績値	4	4	4		
		達成度	100.0%	100.0%	100.0%		
成果指標	① 本会議傍聴者数	計画値	700	700	700	950	
		実績値	286	427	932		
		達成度	40.9%	61.0%	133.1%		
	② 議会ホームページへのアクセス	計画値	20,000	20,000	20,000	35,000	
		実績値	25,405	24,468	34,083		
		達成度	127.0%	122.3%	170.4%		

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
① 事業費(千円)	2,934	2,727	2,811	3,480	4,070	4,070	4,070	0
国庫支出金								
県支出金								
地方債								
その他								
一般財源	2,934	2,727	2,811	3,480	4,070	4,070	4,070	
② 人件費(千円)	3,974	3,779	3,527	3,636	事業内容	事業内容	事業内容	備考
職員人数(人)	0.50	0.50	0.50	0.50	議会報発行	議会報発行	議会報発行	
時間外勤務(時間)								
嘱託等人数(人)								
フルコスト(①+②千円)	6,908	6,506	6,338	7,116				

※財源内訳中の「その他」には、保険料・寄付金・基金・利用料等の収入を記入しています。

【CHECK(評価)】

事業の進捗状況 昨年度の評価から、どのような取組をしましたか(昨年度の【ACTION】の改善・改革の進捗等)	1 「市議会だより」の掲載内容を見直しするとともに、各定例会後に発行・配布し、「議会ホームページ」にも掲載した。 2 本会議の様態をインターネットによるライブ中継及び録画配信をした。 3 政務活動費の執行状況の公表や「市民と議会のつどい」の報告等を掲載した。 4 「市民と議会のつどい」を2月に8地区で開催した。
事業が抱える問題・課題等	

妥当性	【必要性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	市民との協働による「まちづくり」をさらに推進していくためには、行政や議会に対する市民の関心を高め、理解を深める必要がある。そのために、市民生活に直結する議会活動の情報を積極的に公開することは大変重要である。						
有効性	【市の関与】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	市が、市民生活に直結する議会活動の情報を多様な方法で入手できる環境を整備する必要がある。						
効率性	【事業成果】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	統計のある平成13年度以降、ホームページアクセス数及び議会傍聴者数ともに過去最高を記録しており、議会活動に対する市民の関心が高まっている。						
効率性	【施策貢献度】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	市民生活に直結する議会活動の情報を「市議会だより」や「議会ホームページ」等を通じて公開することは、市政に対する市民の関心を高め、理解を深めるための有効な手段であり、市民、行政、議会が市政に対する問題意識等を共有し、それらの解決のために協働して取り組むことで、さらなる市政の発展につながる。						
効率性	【コスト】	削減の余地なし		削減の余地あり		該当なし	
	「市議会だより」の発行部数を削減することはできず、これ以上の削減は困難である。						
効率性	【負担割合】	見直しの余地なし		見直しの余地あり		該当なし	

※事業類型が1～3に該当する事業については妥当性及び有効性の評価は記入していません。

【ACTION(改善・改革)】

今後の方向性	拡充
--------	----

内容 今後の方向性のもとで、どのような取組をするか(課題や問題点等に対する取組など)	ホームページアクセス数及び本会議傍聴者数ともに、記録のある平成13年度以降、最高の実績となった。これは、平成27年度中に執行された市議会議員選挙、市長選挙により市政に対する関心が高まったことが大きな要因と考えられ、潜在的ないし一定の関心を持った市民が多数存在するものと思われる。平成29年度からは、市議会だよりをよりわかりやすく親しみやすい紙面とし、より多くの市民に読んでもらうため、業者への委託内容を見直し、従来の印刷・製本業務にレイアウト・デザイン業務を追加する。
効果 事業の改善・改革によって期待される効果は何か	市民の議会に対する関心が高まり、理解が深まることで、市民との情報の共有化が図られ、開かれた市政の推進に寄与することができる。

1次評価	今後の方向性	担当者意見のとおり		2次評価	対象外	今後の方向性
	終期設定				終期設定	
	意見等				内容	

※1次評価は事業担当課長等、2次評価は2次評価委員会によって行われます。